

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	15-044	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Mortality and life expectancy of people with alcohol use disorder in Denmark, Finland and Sweden. 北欧におけるアルコール障害者の死亡率と寿命について</p>		
執筆者		
Westman J, Wahlbeck K, Laursen TM, Gissler M, Nordentoft M, Hällgren J, Arffman M, Ösby U.		
掲載誌		
Acta Psychiatr Scand. 2015 Apr;131(4):297-306. doi: 10.1111/acps.12330.		
キーワード		PMID
北欧、アルコール障害、死亡率、寿命		25243359
要 旨		
<p>目的： デンマーク、フィンランド、スウェーデンにおけるアルコール障害患者の死亡率と平均寿命を明らかにする。</p> <p>方法： デンマーク、フィンランド、スウェーデンにおいて 1987-2006 年の間にアルコール障害で入院した患者 (1,158,486 人年) を含む住民登録のデータを用いた。</p> <p>結果： 一般の住民に比べて、アルコール障害の患者は寿命が24-28年短かった。1987年から2006年にかけて、一般住民とアルコール障害の患者との寿命の差は、男性は三カ国とも増加し (デンマーク1.8年、フィンランド2.6年、スウェーデン1.0年)、女性ではデンマーク (0.3年) で増加したがフィンランド (-0.8年) とスウェーデン (-1.8年) では減少した。アルコール障害患者の死亡率は、総死亡(死亡率比3.0-5.2)、外因死を除く総死亡(2.3-4.8)、自殺(9.3-35.9)と高かった。</p> <p>結論： アルコール障害で入院した患者の平均寿命は男性で 47-53 歳、女性で 50-58 歳であり、一般住民と比べて 24-28 年短かった。</p>		